

# 船村徹略年譜

昭和

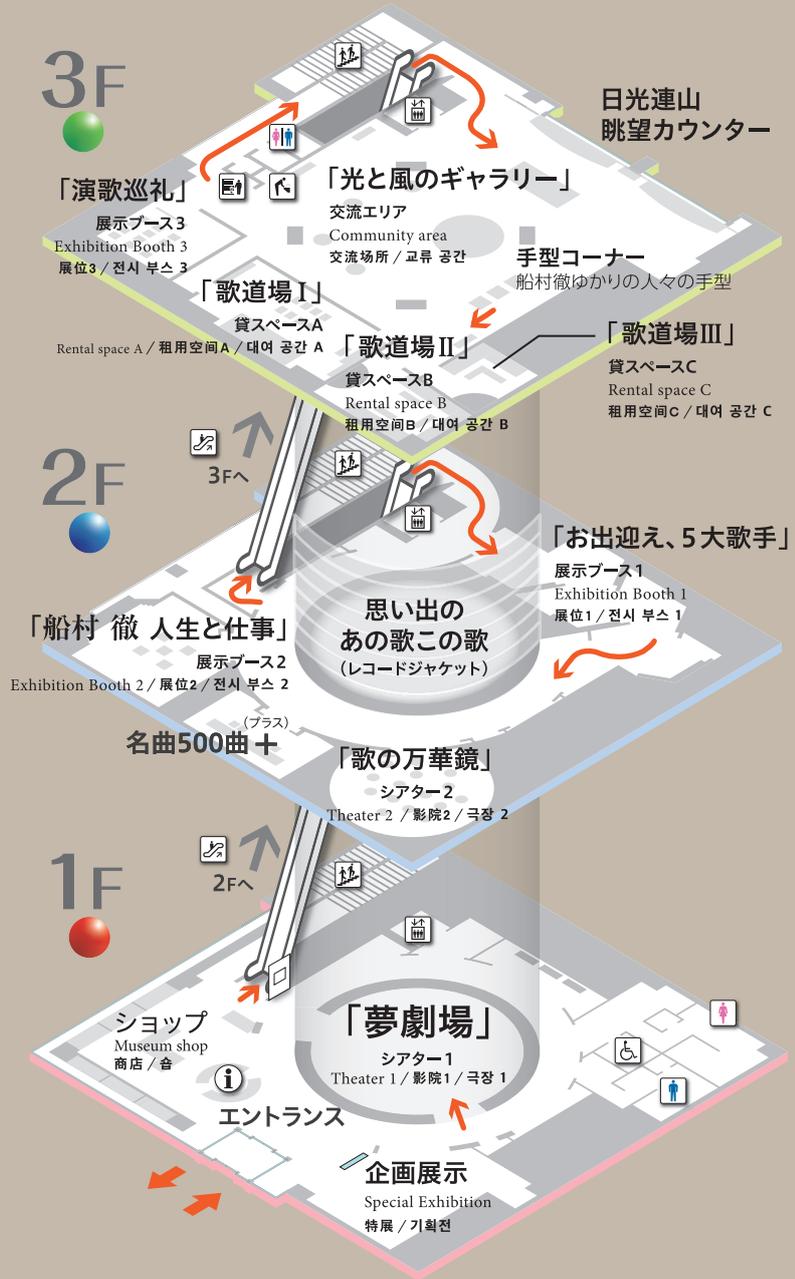
- 1932年 7月12日 栃木県塩谷郡船生村で誕生
- 1949年 24 東洋音楽学校(現 東京音楽大学)ピアノ科に入る
- 1950年 25 「船村徹」の名前を使い始める  
(生まれ故郷の船生村からと初志貫徹から徹をとって)
- 1953年 28 平凡誌上のコロムビア作曲公募で「たそがれとあの人」が一等に初めてのレコードとなる。
- 1955年 30 キングレコードで、「別れの一本杉」が三橋・春日のカップリングでレコーディング、年末に発売される
- 1956年 31 「別れの一本杉」が大ヒット  
コロムビア専属となる
- 1958年 33 全国の刑務所慰問を始める 第1回目は栃木刑務所
- 1959年 34 東映動画「少年猿飛佐助」の音楽監督をつとめる  
ベネチア国際児童映画祭でグランプリを受賞
- 1960年 35 「哀愁波止場」美空ひばりが日本レコード大賞歌唱賞受賞
- 1962年 37 村田英雄「王将」がミリオンヒット  
北島三郎「なみだ船」がミリオンヒット
- 1978年 53 フリーになる事を決心
- 1979年 54 歌を愛する大衆と演歌を通して対話する演歌巡礼を始める
- 1980年 55 「風雪ながれ旅」で第1回古賀政男記念音楽大賞を受賞
- 1981年 56 読売新聞に「演歌巡礼」連載
- 1982年 57 鳥羽一郎デビュー「兄弟船」ミリオンヒット
- 1983年 58 細川たかし「矢切の渡し」レコード大賞
- 1984年 59 第1回歌供養
- 1985年 60 栃木県今市市(現日光市)に仕事場 楽想館を建てる
- 1987年 62 美空ひばり再起第1作目「みだれ髪」レコーディング
- 1989年 64/元 ちあきなおみ「紅とんぼ」藤田まさと賞受賞
- 1991年 3 北島三郎「北の大地」でレコード大賞
- 1995年 7 紫綬褒章受章
- 1997年 9 日本作曲家協会会長に就任 平成17年から最高顧問
- 2000年 12 NHK放送文化賞受賞
- 2002年 14 日経新聞に『私の履歴書』連載  
第1回栃木県民栄誉賞受賞
- 2003年 15 旭日中綬章受章
- 2004年 16 日本音楽著作権協会 14代会長に就任 平成22年から名誉会長
- 2005年 17 町制40周年 塩谷町名誉町民となる
- 2008年 20 文化功労者として顕彰される
- 2012年 24 東京新聞に「この道」連載
- 2014年 26 「栃木県名誉県民」となる  
山の日制定協議会顧問として「山の日」の国民の祝日制定に貢献
- 2014年 26 下野新聞に「私の生きた刻」連載
- 2015年 27 道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣(栃木県日光市今市)に、「日本のこころのうたミュージアム・船村徹記念館」オープン
- 2016年 28 **文化勲章受章**
- 2017年 29 船村徹 死去(享年84歳)
- 2017年 29 従三位に叙される
- 2017年 29 「藤沢市名誉市民」となる



# 日本のこころのうたミュージアム・船村徹記念館

## 館内のご案内

Museum Map / 示意图 / 안내



日光街道ニコニコ本陣

開館時間 Opening hours

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

9:00a.m.～5:00p.m.  
(Last admission: 4:30 pm)

※1階企画展示コーナー及び3階貸スペースは、午前9時から午後9時まで

入館料 Admission charges

一般 : 550円(消費税含む)  
Adults

小学生・中学生・高校生 : 320円(消費税含む)  
Elementary / middle / high school students

休館日

毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、  
年末年始



# 日本のこころのうたミュージアム 船村徹記念館



## アクセス

電車の場合: 東武浅草駅より東武線 下今市駅から徒歩約5分

JR宇都宮駅より日光線 今市駅から徒歩約5分

車の場合: 日光宇都宮道路今市I.Cより約2 km